



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 三和ホールディングス株式会社

コード番号 5929 URL <http://www.sanwa-hldgs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長 (氏名) 高山 俊隆

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 森 健

TEL 03-3346-3019

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日

平成24年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	120,091	8.5	3,275	164.9	3,252	207.3	1,513	945.6
24年3月期第2四半期	110,724	0.1	1,236	235.1	1,058	—	144	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 875百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △116百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	6.30	6.29
24年3月期第2四半期	0.60	0.60

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	224,477	—	85,233	—	—	37.9
24年3月期	226,579	—	85,522	—	—	37.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 85,129百万円 24年3月期 85,396百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	4.00	—	4.00	円 銭	8.00
25年3月期	—	5.00	—	—	円 銭	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	円 銭	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	263,000	6.0	13,500	52.5	13,200	61.2	7,500	127.5	31.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	257,920,497 株	24年3月期	257,920,497 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	18,125,435 株	24年3月期	17,618,606 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	240,106,729 株	24年3月期2Q	240,306,901 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料の予測には、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要因により、記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における国内経済は、復興需要等を背景に住宅投資、設備投資、個人消費等に持ち直しの動きが見られましたが、世界景気の減速等により、景気は総じて弱含みで推移しました。海外（1月～6月）においては、米国経済は、第2四半期に入り個人消費の伸びが鈍化し、経済全体の足枷となりましたが、住宅建設市場は緩やかながら回復基調を維持しました。欧州経済は、ドイツの住宅建設市場は底堅く推移しましたが、ユーロ圏全体では、欧州債務危機による各国での緊縮財政の影響により個人消費が減退し、先行きに不透明感が強まりました。

このような環境下、当社グループでは、長期経営計画「2010ビジョン」の仕上げの年度として、国内においては、受注拡大や多品種化の推進、収益性の改善、生産性の向上に取り組みました。米国では、買収事業とのシナジー効果創出やサービス事業の推進、材料費の値上がりに応じた価格引き上げの浸透に努めるとともに輸送効率の改善やコスト管理の徹底によるコスト削減等にも積極的に取り組みました。欧州では、堅調なドイツでの販売促進活動の強化で受注・販売数量の増加に努めるとともに、生産性の向上、コスト削減の徹底による収益性の改善を行いました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期比8.5%増の120,091百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同四半期比164.9%増の3,275百万円、経常利益は前年同四半期比207.3%増の3,252百万円、四半期純利益は前年同四半期比945.6%増の1,513百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、主に売上債権の減少により、前連結会計年度末と比べ2,102百万円減少し224,477百万円となりました。また、負債は主に仕入債務の減少により、前連結会計年度末と比べ1,814百万円減少し139,243百万円となりました。純資産については、主にその他有価証券評価差額金の減少により前連結会計年度末と比べ288百万円減少し85,233百万円となりました。以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.2ポイント改善し37.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ1,585百万円増加し18,410百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売上債権の減少に伴う資金の回収により4,564百万円の資金増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に固定資産の取得による支出により2,674百万円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払により320百万円の資金減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の連結業績予想につきましては、大幅増収・増益を見込んでおりますが、売上高は、第2四半期までの動向や予想為替レート（ユーロ）の修正を踏まえ、期初予想を若干下回る見通しであります。利益面は、収益性の改善や原材料価格の下落、生産性の向上等を勘案し、期初予想を変更しておりません。

なお、当期の配当予想につきましては1株当たり年間10円（第2四半期・期末ともに5円）を変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社（在外子会社）において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益へ与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,920	14,285
受取手形及び売掛金	61,578	52,692
有価証券	1,729	5,693
商品及び製品	7,241	7,302
仕掛品	18,270	23,450
原材料	11,077	11,464
その他	7,366	8,146
貸倒引当金	△1,221	△1,376
流動資産合計	122,962	121,659
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	15,255	14,929
土地	22,291	22,269
その他(純額)	11,996	11,249
有形固定資産合計	49,544	48,448
無形固定資産		
のれん	3,225	3,137
その他	12,773	13,122
無形固定資産合計	15,999	16,259
投資その他の資産		
投資有価証券	25,337	24,850
その他	13,229	13,733
貸倒引当金	△492	△473
投資その他の資産合計	38,074	38,109
固定資産合計	103,617	102,818
資産合計	226,579	224,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	38,334	34,644
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
短期借入金	7,137	8,270
1年内返済予定の長期借入金	818	811
未払法人税等	2,063	1,481
賞与引当金	2,482	2,731
役員賞与引当金	40	—
その他	21,298	23,662
流動負債合計	77,174	76,602
固定負債		
社債	31,400	31,400
長期借入金	17,251	16,776
退職給付引当金	8,779	8,919
役員退職慰労引当金	90	99
その他	6,361	5,445
固定負債合計	63,883	62,640
負債合計	141,057	139,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,413	38,413
資本剰余金	39,902	39,902
利益剰余金	25,998	26,505
自己株式	△9,694	△9,830
株主資本合計	94,620	94,991
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,315	△4,482
為替換算調整勘定	△5,909	△5,379
その他の包括利益累計額合計	△9,224	△9,861
新株予約権	126	103
純資産合計	85,522	85,233
負債純資産合計	226,579	224,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	110,724	120,091
売上原価	82,638	89,158
売上総利益	28,085	30,932
販売費及び一般管理費	26,849	27,657
営業利益	1,236	3,275
営業外収益		
受取利息	60	52
受取配当金	272	297
有価証券売却益	7	—
持分法による投資利益	—	124
その他	330	257
営業外収益合計	670	731
営業外費用		
支払利息	530	482
持分法による投資損失	49	—
その他	269	272
営業外費用合計	849	754
経常利益	1,058	3,252
特別利益		
固定資産売却益	25	15
投資有価証券売却益	—	21
その他	—	35
特別利益合計	25	72
特別損失		
固定資産除売却損	24	45
投資有価証券売却損	11	—
投資有価証券評価損	211	48
子会社事業再構築費用	270	436
その他	56	82
特別損失合計	575	612
税金等調整前四半期純利益	508	2,711
法人税等	363	1,198
少数株主損益調整前四半期純利益	144	1,513
四半期純利益	144	1,513

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	144	1,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△921	△1,167
繰延ヘッジ損益	△106	—
為替換算調整勘定	755	475
持分法適用会社に対する持分相当額	11	54
その他の包括利益合計	△261	△637
四半期包括利益	△116	875
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△116	875
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508	2,711
減価償却費	2,544	2,633
のれん償却額	86	249
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60	136
賞与引当金の増減額(△は減少)	△257	242
退職給付引当金の増減額(△は減少)	50	198
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△47	—
受取利息及び受取配当金	△333	△349
支払利息	530	482
持分法による投資損益(△は益)	49	△124
売上債権の増減額(△は増加)	4,289	8,963
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,030	△5,549
仕入債務の増減額(△は減少)	△196	△3,726
その他	1,032	840
小計	1,287	6,710
利息及び配当金の受取額	364	348
利息の支払額	△549	△482
法人税等の支払額	△1,402	△2,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	△299	4,564
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△888	△1,729
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	115	716
固定資産の取得による支出	△972	△1,792
貸付けによる支出	△635	△510
貸付金の回収による収入	708	506
事業譲受による支出	△1,198	△127
その他	△436	262
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,306	△2,674
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,266	1,198
長期借入れによる収入	4,061	—
長期借入金の返済による支出	△422	△353
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△180
配当金の支払額	△961	△961
その他	△108	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	302	△320
現金及び現金同等物に係る換算差額	347	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,955	1,585
現金及び現金同等物の期首残高	20,306	16,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,351	18,410

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	61,640	30,127	18,895	110,663	61	110,724
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	26	19	58	△58	—
計	61,653	30,153	18,915	110,722	2	110,724
セグメント利益 又は損失(△)	1,747	238	△7	1,978	△742	1,236

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 61百万円
- ・セグメント間取引消去 △58百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 61百万円
- ・全社費用 △717百万円
- ・のれんの償却額 △86百万円
- ・セグメント間取引消去 0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

北米…アメリカ、カナダ、メキシコ他

欧州…ドイツ、オランダ、フランス、イタリア、イギリス他

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	70,141	32,472	17,404	120,018	72	120,091
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	9	89	99	△99	—
計	70,141	32,482	17,494	120,118	△26	120,091
セグメント利益 又は損失(△)	3,398	836	△75	4,159	△884	3,275

(注) 1 調整額の内訳は、以下のとおりであります。

(1) 売上高

- ・その他の売上高 72百万円
- ・セグメント間取引消去 △99百万円

(2) セグメント利益又は損失(△)

- ・その他の利益 72百万円
- ・全社費用 △707百万円
- ・のれんの償却額 △249百万円
- ・セグメント間取引消去 △0百万円

その他の内容は、管理業務に伴う付随的な活動によるものであります。

全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費などであります。

- 2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 3 各報告セグメントに属する主な国又は地域は以下のとおりであります。
 - 北米…アメリカ、カナダ、メキシコ他
 - 欧州…ドイツ、オランダ、フランス、イタリア、イギリス他

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。